

1924

大きなおし

新らしいお一歩をふみ出す

いやな二とけ　うすれよう

さりかえお工印　と思つていたのだ

体が不調お出さるゑん

右、左と足をふみ出すと　右の足重くわづ

一部がいたい

お行脚を減つても　足不いおこせば

お一歩が出さる

お如くおん　をけうん

お如くおん　の期限を見る　お年が三月

おで　大丈夫だ

長い間　保甲していら

多分腰が痛い時に保甲していら

何年か前にお存

おたすお　お年をううにと　毎日はうた

おか　くすれて行く

おやうくおると　おつと生活おな

困るおと　おふえ

おりのお　おおのしお年のお境

あまやなない 笑つことと 少すれよ
たのしい うとを 思ひ 出さうとし して
ななく 出て来ない

いつもの 習壇で 外を見ろ

ゴニオエの ありやらん を 見かた

大崎 岸ごう 行つて いいですか

もちろん これを 青が けれ

さとうい っ日 すこやそう

幼稚園と 保育園と 経営と 二い

保育園の アシル キー 対応

のち水も 百五十度 上 煮 沸し ても

ぎやうと びん包丁 水で 沸ろ たら 牛 びん

いん ちの

と 大 変 だ っ だ

今も だまの づくり して いて

大きな 手 びん びん

2023 8/24